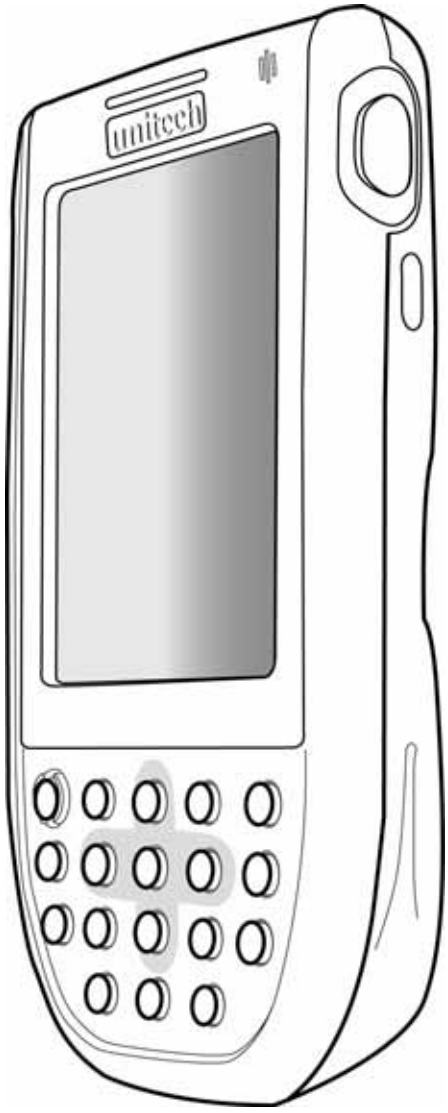
unitech

unitech

PA600 Rugged Enterprise PDA



取り扱い説明書 (Windows CE,1D)

400546G Rev. E

本マニュアルについて

本マニュアルは、PA600 ポータブルデータターミナルのインストール、操作そして保守方法について説明しています。

本書のいかなる部分もユニテック社の文書による許可なしでいかなる形式でも複製することはできません。これはフォトコピー、レコーディング、あるいは情報の保存と検索システム等の電気的もしくは機械的な方法を含んでいます。本書の内容は予告無く変更することがあります。

© Copyright 2006 - 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. 版権所有

Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。Microsoft、Windows と ActiveSync は Microsoft Corporation の登録商標または商標です。本書で使われる他の製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。

Unitech は、Oracle Embedded Software Licensing Program のメンバーです。

認証について

FCC 認証について

本製品は FCC Part 15 Class B に該当します。米国内では、本製品は無線干渉を起こすかもしれません。この場合、ユーザは適当な対応を必要とすることがあります。

カナダの認証について

この Class B Digital 装置は Canadian Interference-Causing Equipment Regulations のすべての要求を満たしております。

本製品は、2.4 GHz スプレッドスペクトラムデバイスの RSS-139-1 要件を満たしております。

欧州連合の認証について

R&TTE 1999/5/EC と EMC 89/336/ EEC 指令に関する適合宣言。

レーザについて

Unitech PA600 シリーズは、DHHS/CDRH 21CFR Subchapter J 要件と IEC 825-1 要件に適合するために米国で認証されております。Class II と Class 2 製品は危険であるとは考えられておりません。PA600 シリーズは上記の規制の最大値を越えることのない可視レーザダイオード (VLD) を内蔵しています。スキャナは通常の使用、メインテナンスあるいは規定のサービス操作では人体に害のあるレーザ光ではないように設計されています。

PA600 シリーズについて DHHS/IEC によって要求されるレーザ警告ラベルは本体の背面にあります。

注意！　この仕様以外の方法でコントロールあるいは調整もしくは使用することは、レーザ光が危険になることがあります。スキャナと光学機器を使用すると目の危険が増加します。光学機器は、双眼鏡、顕微鏡、そして拡大鏡を含みます。これにはユーザがかけている眼鏡は含みません。

バッテリについての注意

本ユニットはバッテリパックとバックアップバッテリを内蔵しています。PA600 は保存のためにバッテリが放電し電源が入らないことがあるかもしれません。

このように両方のバッテリが放電した場合、メインバッテリとバックアップバッテリを完全に充電するために 16 時間ユニットを充電します。PA600 を充電する方法は二つあります。

1. PA600 に DC ポートを持つ USB 充電ケーブルを接続し、5V/2A の AC アダプタを USB・充電ケーブルの DC ジャックに接続します。

2. PA600 を クレードルに置き、5V/2A AC-DC アダプタをクレードルの DC ジャックに接続します。

詳細は、8 ページ、バッテリの充電をご覧下さい。

メインバッテリが外された場合、バックアップバッテリは SDRAM のデータを約 60 分間保持します。データの損失を防ぐには、PA600 のバッテリを長い間外しっぱなしにしておかないようにしてください。

バッテリ充電についての注意

リチウムイオンバッテリを充電する場合は常に周囲温度に気をつけることが重要です。このプロセスは室温またはやや低い温度が最も効率的です。 -5°C から 50°C の範囲でバッテリを充電することが基本です。指定した範囲外でのバッテリ充電はバッテリに損傷を与えたり、寿命を短くします。

保存と安全についての注意

数ヶ月間使用されなかった充電済みリチウムイオンバッテリの容量は内部抵抗により消耗します。この場合、使用する前に充電する必要があります。リチウムイオンバッテリは -20°C から 60°C の間で保存することができますが、高い温度ではより速く消耗します。バッテリは室温で保存されることをお勧めいたします。

目　　次

はじめに
本マニュアルについて i
認証について i
FCC 認証について i
カナダの認証について i
欧州連合の認証について i
レーザについて ii
バッテリについての注意 ii
バッテリ充電についての注意 ii
保存と安全についての注意 iii

第 1 章
概要 1
PA600 の概要 1
仕様 2
パッケージの内容 3
PA600 を初めて使う 4
前面 4
背面 5
初めて使う 6
バッテリの装着 6
バッテリの充電 8
USB ケーブルを使用してバッテリを充電 8
クレードルを使用してバッテリを充電 9
バッテリの状態をチェック 9
PA600 と PC の接続 10
PA600 の電源を初めて入れる 11
電源を入れる 11
PA600 スクリーンの補正 12

第 2 章
ハードウェアの使い方 14
キーパッドとファンクションボタン 14
スクリーンの明るさを調節する 16
スタイラスの使い方 16
SD/MMC カードの使い方 17
メモリカードの挿入 17
メモリカードの取り出し 17
レーザスキャナの使い方 18

第 3 章
接続について 20

PA600 と PC を接続する 20
Microsoft ActiveSync のインストール 20
PA600 とコンピュータとの接続 23
コンピュータとの同期 24
接続オプション 24
USB 接続 24
赤外線接続 25
Bluetooth 接続 26
WiFi 接続 30
同期情報 32
同期オプション 32
ファイル交換に ActiveSync を使う 32

第 4 章
バーコードスキャナプログラム 34

Scan2Key 34
スキャナ設定 34
バーコードシンボル 35

第 5 章
詳細な設定 36

設定の変更 36
メインバッテリとバックアップバッテリ状態のチェック 37
バッテリの使用時間を延ばす 38
自動電源オフ設定の変更 38
バックライト設定の変更 39
フラッシュメモリのファイル表示 40
ハードウェアリセットの実行 41
ウォームブートの実行 41
コールドブートの実行 42

付録
システム仕様 43

第 1 章

概要

PA600 の概要

PA600 ポータブルデータターミナルをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

PA600 は、データ収集やリアルタイムデータ処理用にコンパクトで頑丈な PDA を必要とされるお客様のために設計されました。

PA600 は Windows CE 5.0 オペレーティングシステムを採用し、バーコードレーザスキャナを内蔵、タッチスクリーン付きカラー LCD、キーパッド、IrDA インターフェース、そして無線通信機能を搭載した頑丈でコンパクトそして軽量な PDA ターミナルです。PA600 は標準的な Windows ベースの環境によりアプリケーションに適したカストマイズと操作方法を提供いたします。

故障や障害によるダウン時間を少なくするために、PA600 は IP64 の防水・防塵性能を持ち、また 1.2 メートル高からの複数回の落下に耐えるテストに合格しています。

仕様

OS と CPU

- Microsoft Windows CE NET 5.0 オペレーティングシステム
- Intel PXA270 CPU, 520 MHz

システムメモリ

- 64 MB SDRAM
- 128 MB Flash ROM

ディスプレィ

- 3.5 インチ QVGA LCD タッチパネル付き
- 320 x 240 ピクセル

バーコードスキャナ

- レーザバーコードスキャナ内蔵
- 読み取り表示用にバイブレータ内蔵
- Symbol SE950 サポート
- UNITECH HAMSTER バーコードデコーダ

通信

- USB ホストとクライアント
- IrDA 1.2 (SIR)
- VOIP サポート
- 802.11b/g 無線 LAN
- Bluetooth バージョン 1.2 (Bluetooth プリンタ、Bluetooth モデム、Bluetooth ActiveSync をサポート)

オーディオ

- 音声録音と再生
- マイク
- スピーカー
- ヘッドセットコネクタ
- 受話器

無線

- 802.11b + g 、ダイバシティアンテナ
- Bluetooth
- 赤外線ポート

拡張スロット

SD メモリカードスロット、SDIO スロットとしても使用可能

バッテリ使用時間

- バッチ使用、50% バックライト点灯： 12 時間
- 無線 LAN 使用、50% バックライト点灯： 6 時間
- 充電時間： 4 時間
- バックアップバッテリ内蔵

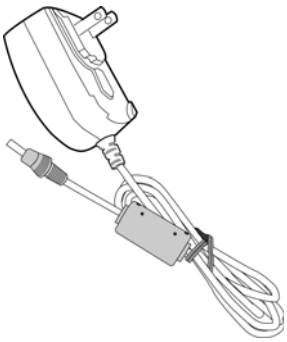
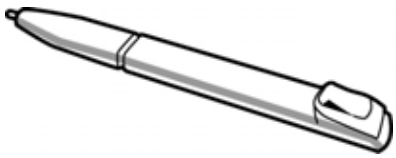
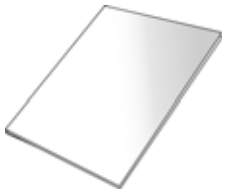
ユーザフレンドリーインターフェース

- ホットキー - バックライト、スクリーン補正、ソフトウエアキーボード、その他のデバイス管理
- バーコードスキャナ用トリガキー

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

パッケージの内容

箱を開けた後で、PA600 と以下のアクセサリが入っていることをご確認下さい。

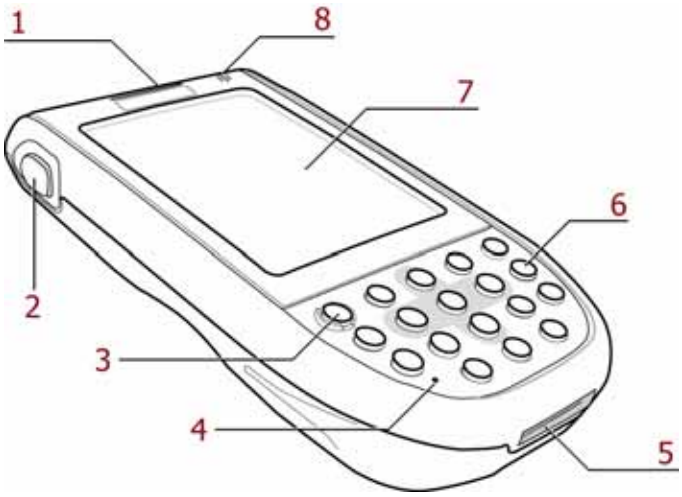
<table>
<tr><td colspan="2"> </td><td colspan="2">  </td></tr>
<tr><td colspan="2">PA600 ターミナル</td><td colspan="2">AC アダプタ</td></tr>
<tr><td> </td><td colspan="3">  </td></tr>
<tr><td>バッテリパック</td><td colspan="3">スタイラス</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>USB 充電ケーブル</td><td>スタイラス用ひも</td><td>CD-ROM</td><td>クイックガイド</td></tr>
</table>

不足もしくは損傷がありましたらお買い上げになりました代理店またはユニテック・ジャパンまでお知らせ下さい。

PA600 を初めて使う

以下のセクションは PA600 の主要コンポーネントと特徴について説明しています。

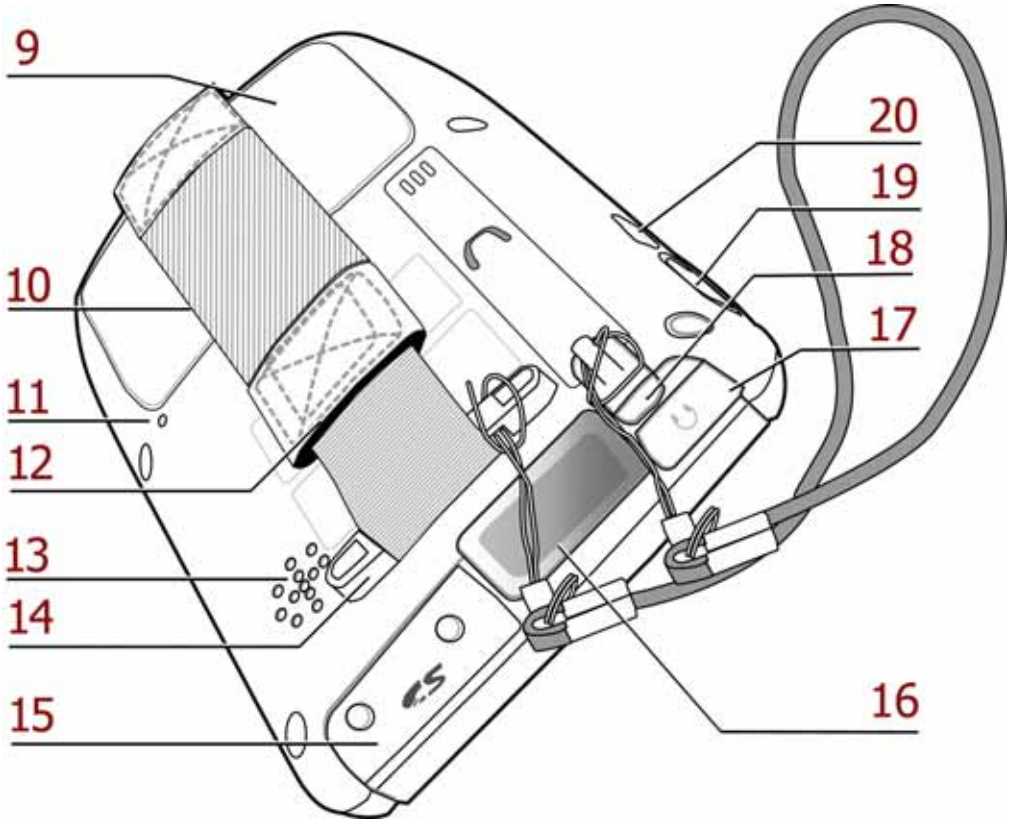
前面



No.	コンポーネント	説明
1.	ステータス表示	バッテリ充電とバーコード読み取りステータスを表示。 **緑** - バッテリは完全に充電。PA600 はバッテリ電源で動作中、もしくはバーコード読み取りがエラーなしに行われた。 **赤** - バッテリは充電中。バーコードスキャナが起動され読み取り中。
2.	左スキャナトリガボタン	バーコードレーザスキャナを起動するために押します。
3.	電源ボタン	PA600 の電源がオフになっている場合、このボタンを押すと電源が入ります。 あるいは、電源が入っている場合、PA600 の電源を切るには 2 秒間このボタンを押し続けます。
4.	マイク	音声を録音することができます。
5.	ユニバーサルコネクタ	PA600 を USB 充電ケーブルに接続し、反対側のコネクタをコンピュータの USB ポートと電源アダプタからの DC プラグを接続します。 PA600 の充電と ActiveSync 通信を行います。 クレードル、USB - RS232 変換ケーブル等の周辺機器との接続もできます。
6.	キーパッド	PA600 を制御するキーパッド。詳細は*キーパッドとファンクションボタン* 14 ページをご覧下さい。
7.	LCD タッチスクリーン	アプリケーションとデータを表示します。タッチスクリーンはスタイラスまたは指に反応します。
8.	スピーカ	PA600 から音声を聞くことができます。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

背面



No.	コンポーネント	説明
9.	バッテリ収容部	取り外し可能で、充電可能な 3.7 V、2200 mAH バッテリパックを収容します。
10.	バッテリ収容部ラッチ	バッテリ収容部を開けます。
11.	リセットボタン	スタイラスの先端でボタンを押して PA600 をリセットします。
12.	ハンドストラップ	使用中に PA600 をしっかりと持つことができます。
13.	スピーカー	PA600 から音声を聞くことができます。
14.	ストラップホルダー	ハンドストラップとスタイラスを取り付けます。
15.	メモリカードスロット	メモリカードを収容します。SDIO スロットとしても使用可能です。
16.	バーコードスキャナウインドウ	バーコードをスキャンするときに使用します。
17.	イヤホンジャック	雑音の多い環境でイヤホンまたはヘッドセットを接続します。
18.	スタイラス	オペレーティングシステムの操作に使用します。ペンと同じように持ちます。
19.	右スキャナトリガボタン	バーコードスキャナを操作します。
20.	赤外（IR）ポート	赤外線を使用可能なデバイスとの間でデータを転送するために使用します。

初めて使う

このセクションではインストールとバッテリの充電方法、バッテリの状態チェック方法、PA600 の電源の入れ方、そしてスクリーン補正の方法について説明します。

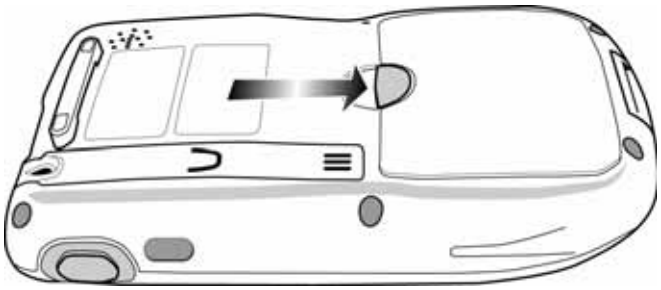
バッテリの装着

警告！　バッテリパックを正しく扱わないと焼損などを引き起こす危険性があります。バッテリパックを分解、押しつぶす、穴をあける、端子のショート、あるいは火や水中へ投棄してはいけません。バッテリパックを開けたり修理してはいけません。使用済みのバッテリは所定の回収拠点にお渡し下さい。

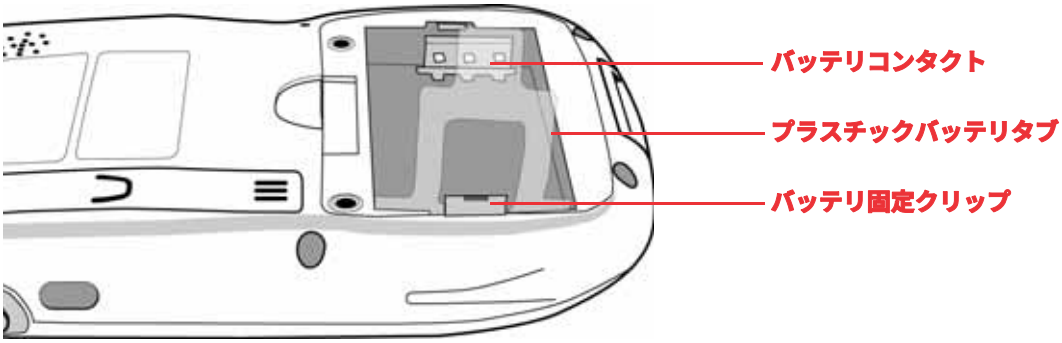
バックアップバッテリは PA600 に組み込まれており、バッテリパックを外した場合やバッテリが完全に放電した場合にデータが失われることを防ぎます。このバックアップバッテリは最大 60 分間データ保護をサポートします。

ノート：　内部のバックアップバッテリを完全に充電するには、メインバッテリと同時に少なくとも 16 時間以上充電する必要があります。

1. 矢印の方向にラッチを押し、そして持ち上げてバッテリ収容部を開きます。



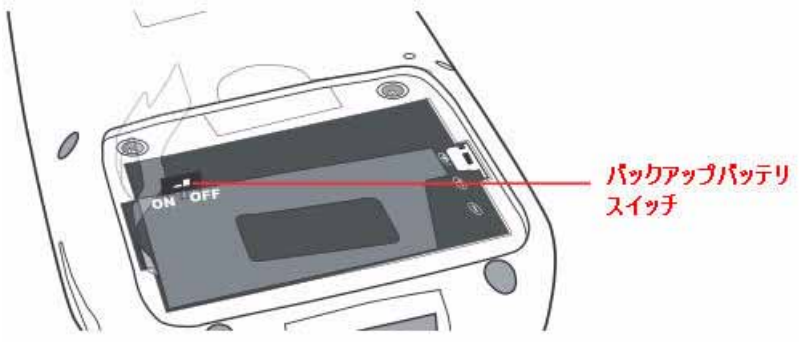
バッテリ収容部が見えます：



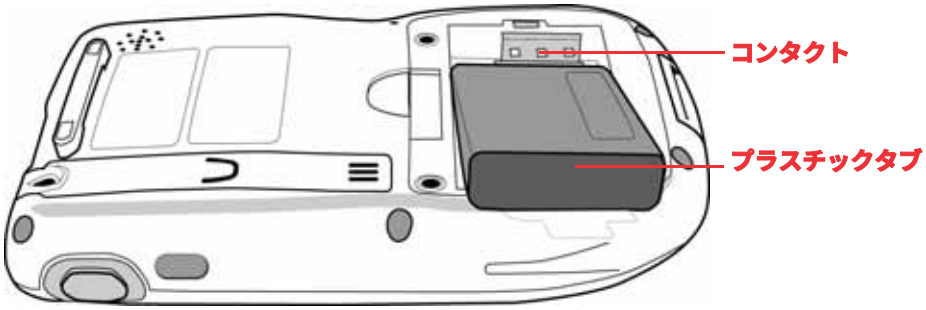
ノート：　プラスチックバッテリタブはバッテリを外しやすくするためのものです。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

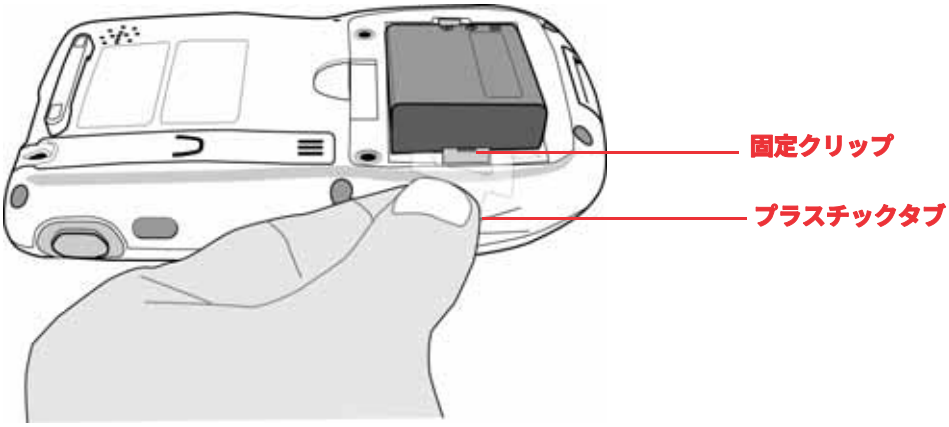
2. バックアップバッテリスイッチを探し、オンにします。



3. バッテリパックの位置を合わせます。バッテリのコンタクトとバッテリ収容部のコンタクトが合っていることを確かめ、図に示すようにバッテリをプラスチックタブの上に置きます。



4. バッテリが納まるまでプラスチックタブと固定クリップを引きながらバッテリパックをバッテリケースにスライドさせます。バッテリが納まるとカチッという音がします。



5. バッテリ収納部のカバーを元に戻します。

バッテリの充電

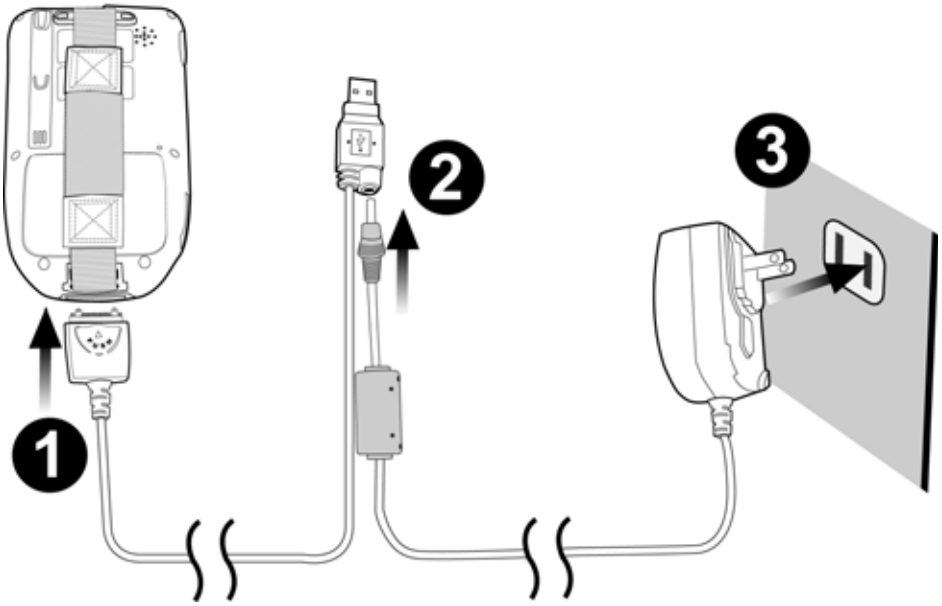
最初に PA600 を使用する前に約 16 時間バッテリを充電する必要があります。その後は、4 時間でバッテリの完全充電を PA600 に行います。USB 充電ケーブルまたはクレードルを使用して PA600 を充電します。

注意！ **AC アダプタなし、そしてバックアップバッテリを完全に充電しないで最初に PA600 を使用した場合、RAM メモリに保存されたデータが失われるかもしれません。メインバッテリを外した場合、バックアップバッテリは RAM のデータを 60 分間保持します。RAM メモリのデータが失われることのないように十分な時間充電して下さい。**

ノート： **入力したデータは内蔵のバックアップバッテリが十分に充電されるまでは正しく保存されないことがあります。**

USB ケーブルを使用してバッテリを充電

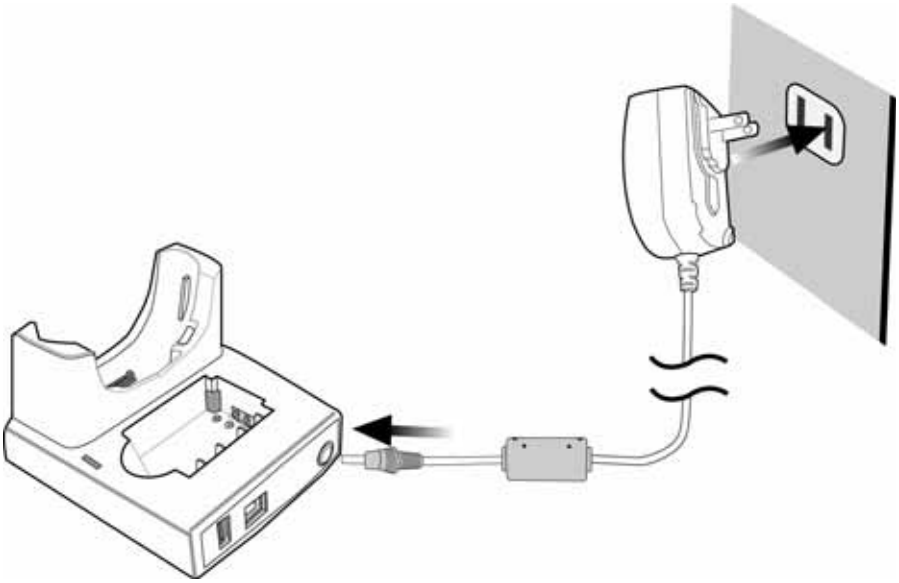
1. **USB** 充電ケーブルのコネクタボタンを押したまま **PA600** に接続します **(1)**。
2. **AC** アダプタのケーブルを **USB** 充電ケーブルの電源ジャックに差し込みます **(2)**。
3. **AC** アダプタをコンセントに差し込みます **(3)**。



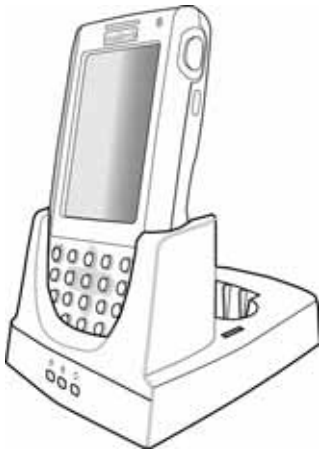
Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

クレードルを使用してバッテリを充電

1. クレードルの電源ジャックに **AC** アダプタのケーブルのプラグを差し込み、**AC** アダプタをコンセントに差し込みます。



2. **PA600** をクレードルにしっかりと納まるまでスライドします。



3. **PA600** の底部とクレードルが並んだときに接続が正しく行われ、そして **PA600** の **LED** が赤く点灯します。

LED ステータス

	LED	意味
PA600	赤色点灯	充電中
	緑色点灯	充電終了
クレードル	電源 LED	電源がオン
	充電 LED:	充電中
	同期 LED	同期が行われている

バッテリの状態をチェック

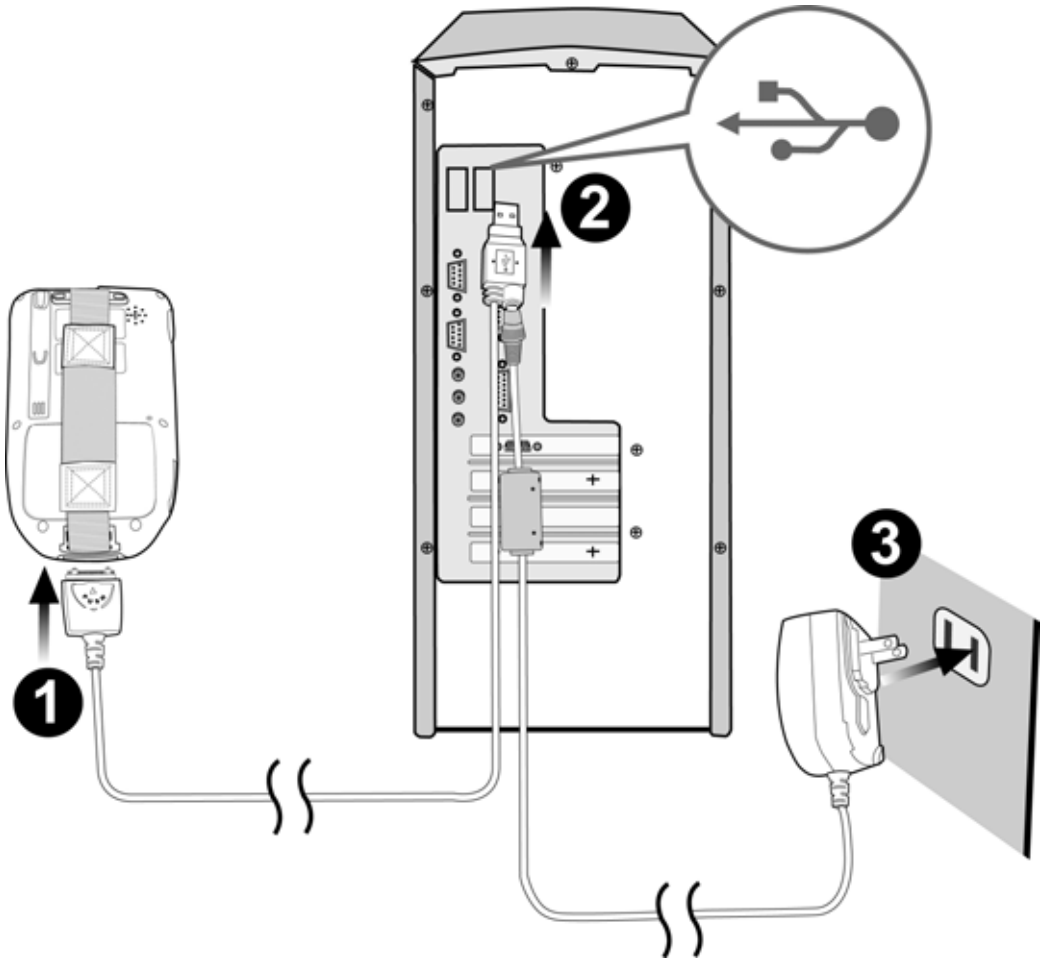
通常の使用でバッテリレベルが低くなった場合、バッテリ電圧低下または極めて低下の状態を示すアイコンが PA600 のスクリーンに現れます。どちらの場合でも、ActiveSync を使用してデータをバックアップしてからすぐに PA600 を充電します。

バッテリが「電圧低下」の状態になった場合、PA600 はスリープモードに入ります。この場合、PA600 の内部メモリデータを失わないようにするためには速やかに充電が必要です。

PA600 と PC の接続

ActiveSync を使用して PA600 と PC を接続するために USB ケーブルを使用します。

1. **USB** 充電ケーブルのコネクタボタンを押しながら PA600 に接続します **(1)**。
2. **USB** コネクタを **PC** の **USB** ポートに差し込み、**AC** アダプタケーブルの **DC** プラグを **USB** コネクタに差し込みます **(2)**。
3. **AC** アダプタをコンセントに差し込みます **(3)**。



Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

PA600 の電源を初めて入れる

最初に 16 時間 PA600 を充電した後、PA600 の使用を始めることができます。ディスプレイの補正、基本的なスタイラス使用法の学習、そしてタイムゾーン、日付と時刻の設定を行って PA600 の使用を開始することができます。

電源を入れる

1. フロントパネルの電源ボタンを押して PA600 の電源を入れます。

ノート：　PA600 スクリーンは保護プラスチックフィルムが貼られて出荷されます。角を引っ張って剥がすことができます。スクリーンはフィルムがないと傷つき易くなりますが、見やすくなります。

2. Unitech PA600 Welcome スクリーンに続いて Windows CE スクリーンが現れます。

PA600 スクリーンの補正

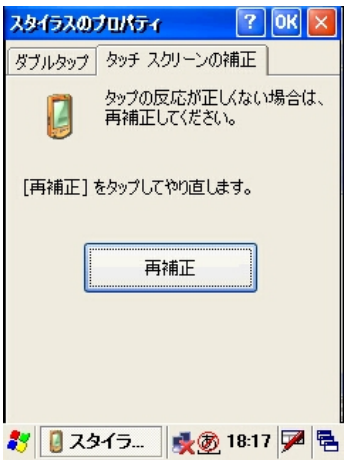
最初に PA600 の電源を入れた時、またはシステムのリセットを行った時に自動的に補正スクリーンが現れます。

任意の時点で補正を行うには、以下のように行います。

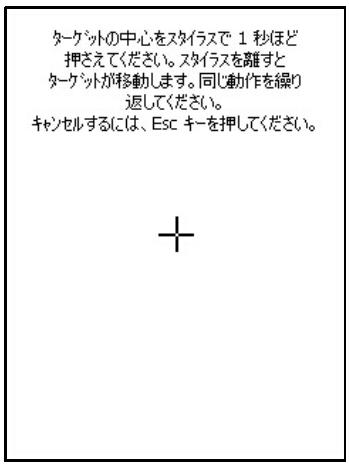
1. **スタート** → **設定**をタップし、**コントロールパネル**をタップします。
2. **スタイラス**アイコンをタップします。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

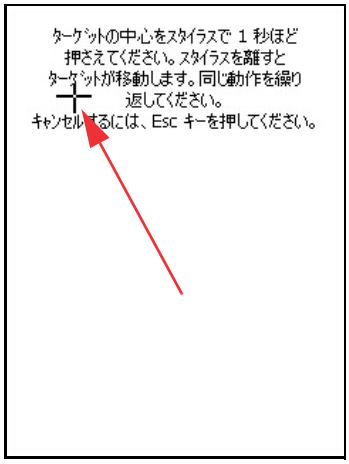
スタイラスのプロパティのウインドウが現れます。
このウインドウは画面設定をカストマイズすることができます。



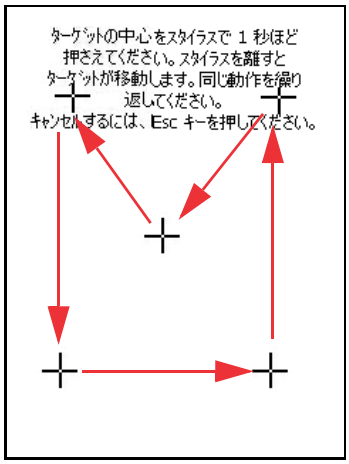
3. スクリーンを補正するには**タッチスクリーンの補正**をタップします。
   再補正ボタンをタップします。タッチスクリーンの補正ウインドウが現れます。
4. 十字をしっかりと正確にタップします。



十字が次の場所に移動します。



5. スクリーンの補正が終わるまで十字を続けてタップします。補正が終わったら Enter キーを押します。



ハードウェアの使い方

キーパッドとファンクションボタン

キーパッドはオペレーティングシステムの情報入力や応答を可能にし、そしてファンクションボタンを使用して二次的な機能を操作することができます。緑のファンクションボタンを押した時に、キーパッドのファンクション操作が使用できるようになります。

ファンクションボタン を押した時に、オペレーティングシステムにアイコンが現れます。

以下の表はキーパッドのキーについて説明しています。

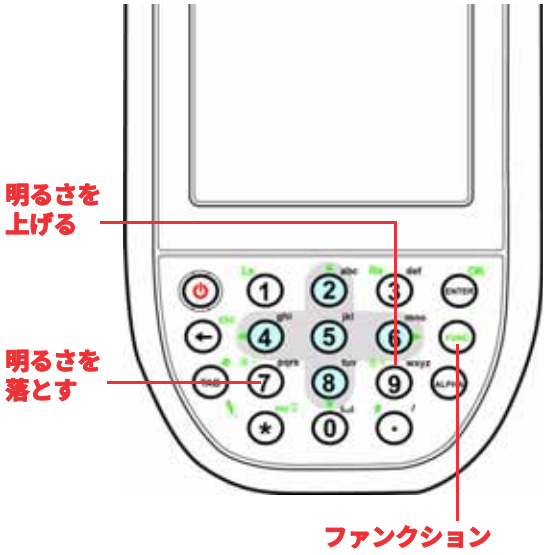
キー	主な機能	二次的な機能
	PA600 の電源オンとオフ	
	数字 1	
	英数字 2，a，b，c	上ナビゲーションキー
	英数字 3，d，e，f	

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

キー	主な機能	二次的な機能
	Enter キー	OK
	バックスペース (後退)	エスケープ (Escape) キー
	英数字 4, g, h, i	左ナビゲーションキー
	英数字 5, j, k, l	
	英数字 6, m, n, o	右ナビゲーションキー
		ファンクションキー有効または無効
	タブ	スタートメニューを開く Windows キー
	英数字 7, p, q, r, s	スクリーンの明るさを落とす
	英数字 8, t, u, v	下ナビゲーションキー
	英数字 9, w, x, y, z	スクリーンの明るさを上げる
	英数切り替え	
	アスタリスク (*)	キーパッドバックライトをオン
	数字 0, スペース (空白)	
	ピリオド	ポンド

スクリーンの明るさを調節する

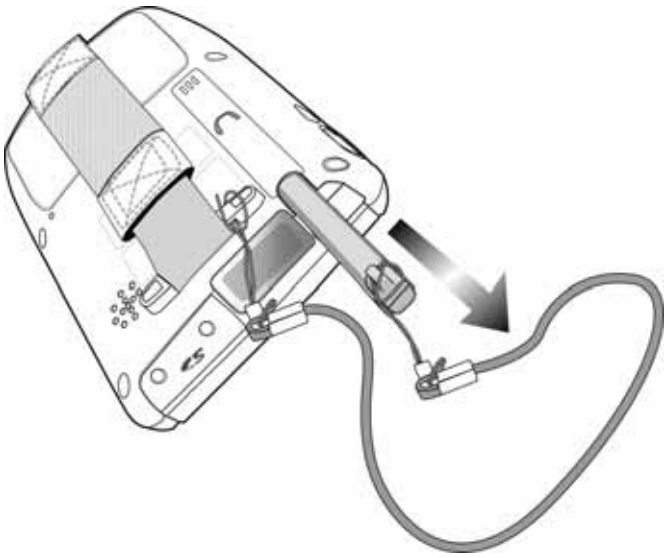
ファンクションボタンを押してソフトキーを有効にして、そして7（明るさを落とす）または9（明るさを上げる）ボタンを押します。



スタイラスの使い方

注意！　PA600 スタイラス以外のものをスクリーンで使用しないで下さい。スタイラスとして他のものを使用するとスクリーンに傷が付く恐れがあります。

1. ホルダーからスタイラスを外します。



2. スタイラスを鉛筆のように持ちます。
3. メニューから選択する場合、選択するものの上でスタイラスを軽くタップします。
4. フォーム上のフィールドにデータを書く場合、文字や数字を書くためにスタイラスを使用します。軽く書いて下さい。

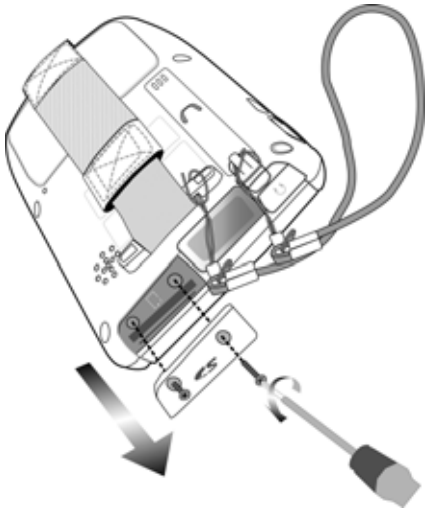
Copyright 2006 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

SD/MMC カードの使い方

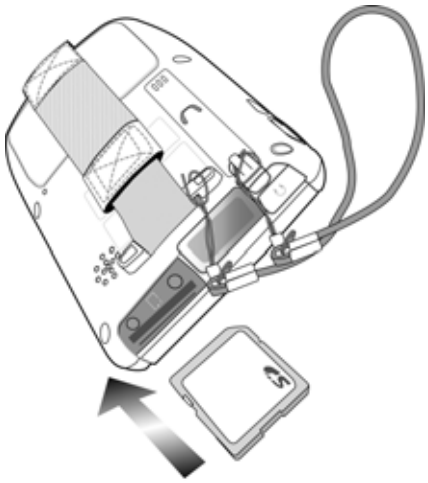
PA600 は主にデータのバックアップや転送に使用される各種 SD や MMC メモリカード用の拡張スロットを持っています。スロットは主に通信に使用される SDIO カードもサポートしています。

メモリカードの挿入

1. SD 収容部の 2 本のネジを外し、カバーを取ります。



2. ケースのアイコンが示すノッチのある角を合わせて SD カードを挿入します。



3. しっかりとクリックされるまでカードをスロットに押し込みます。これはカードがスロットの中に正しく納められたことを示すシグナルです。
   カードがスロットから押し出されなければ正しく入っています。

メモリカードの取り出し

1. SD 収容部の二つのネジを外し、カバーを取ります。
2. カードを押すと外れます。
   カードが飛び出します。
3. スロットからカードを外します。

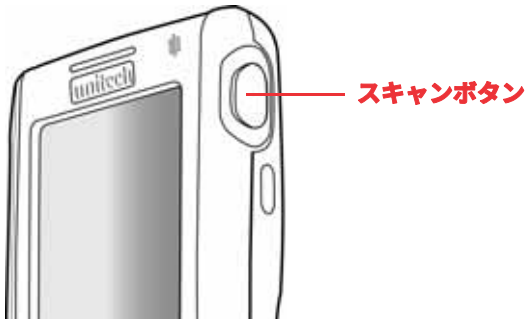
レーザスキャナの使い方

PA600 は主なバーコードラベルを優れた性能で読み取ることのできるレーザバーコードスキャナを内蔵しています。

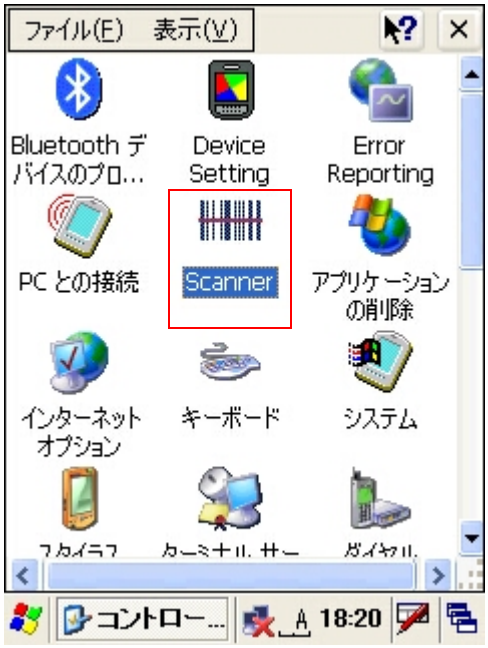
ノート： 読み取りソフトウェアはスキャナを動作させるために使用可能にしておかなければなりません。これはユーザアプリケーションもしくは スキャナコントロールパネル等の常駐ユーティリティです。

本体の右もしくは左にあるいずれかのトリガキーを押すことによってレーザスキャナを起動します。

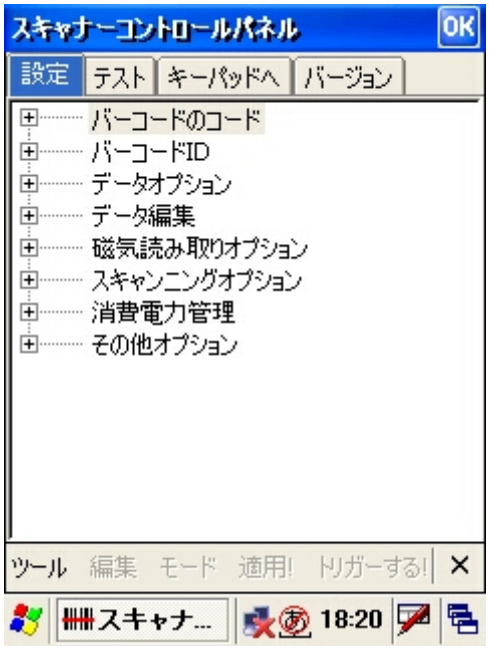
PA600 はバーコードスキャン機能をテストすることのできるスキャナコントロールパネルユーティリティを内蔵しています。



1. **スキャナコントロールパネル**を立ち上げるには、**スタート** → **設定** → **コントロールパネル** → **Scanner** をタップします。



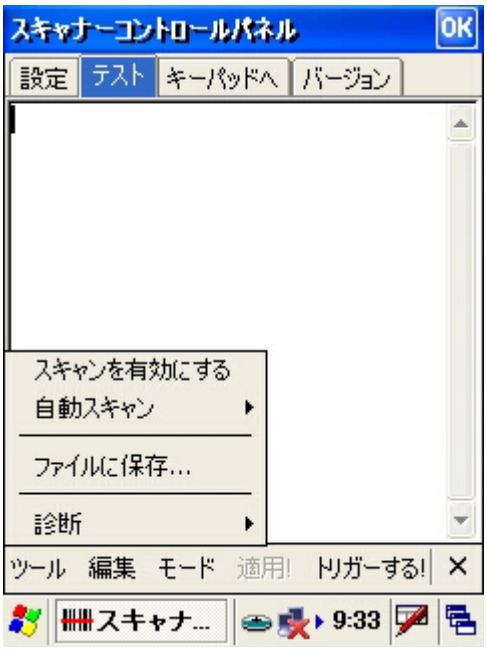
2. スキャナコントロールパネルが開きます。

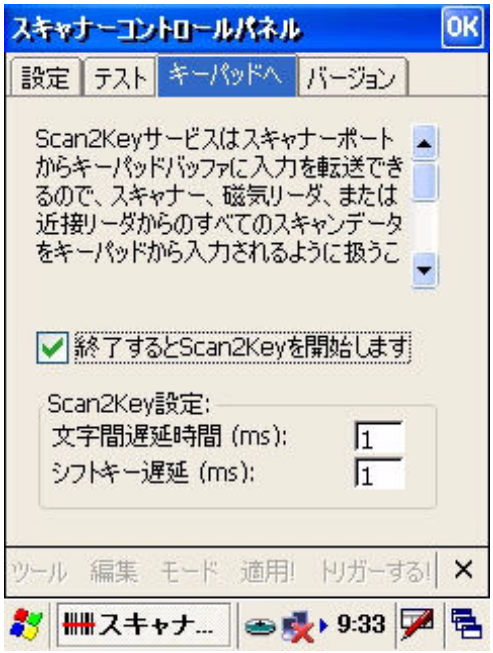


ここからバーコードスキャナのパラメータ設定、例えば、読むバーコードシンボルの選択、データ転送オプション、電源管理オプション等を行うことができます。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

3. バーコードスキャナをテストするには、**テスト**タブをタップします。
4. **ツール**をタップします。
5. **スキャンを有効にする**をタップします。
6. 自動スキャンを実行するために、**ツール** → **自動スキャン** → **自動スキャンを開始**をタップします。
7. **間隔：3 秒**を選択します。
8. **開始**をタップします。
9. スキャナが 3 秒ごとにスキャンし、バーコードは自動的にスキャンされます。
10. **ツール** → **自動スキャン** → **自動スキャンを停止**をタップします。
11. テストタブ以外のところでスキャンを有効にするには、**Scan2Key.exe** を有効にします。これは、**キーパッドへ**タブで行うことが出来ます。
12. **終了すると Scan2Key を開始します**のラベルの付いたチェックボックスをチェックします。右上の **OK** をタップして終了します。スキャナは、有効になり、バーコードスキャンは直接キーボードバッファに入力されます。





接続について

PA600 と PC を接続する

Microsoft ActiveSync のインストール

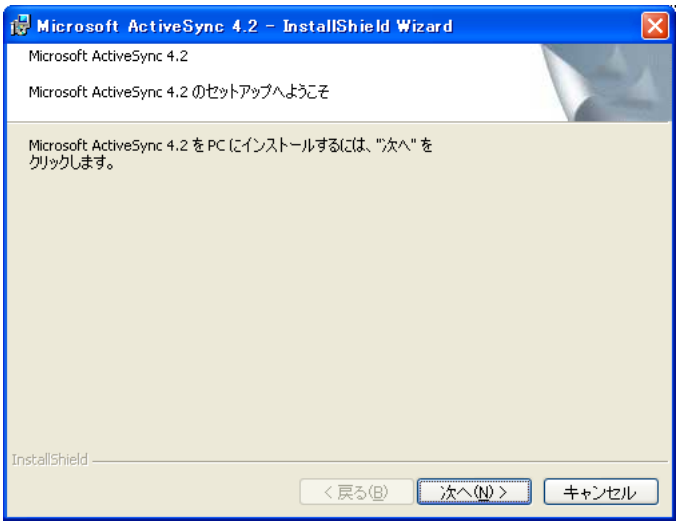
コンピュータと PA600 との間でデータを交換するために、Microsoft ActiveSync をコンピュータにインストールしなければなりません。PA600 をコンピュータに接続するには、付属の USB 充電ケーブルを使用します。

ノート： コンピュータに古いバージョンの Microsoft ActiveSync がインストールされている場合、最新の Microsoft ActiveSync をインストールする前にアンストールしてください。

Microsoft ActiveSync をコンピュータにインストールする方法：

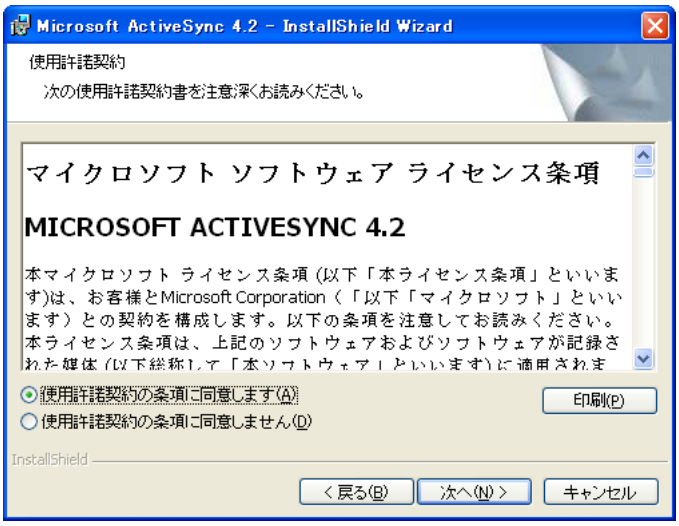
1. スタートアップで実行したプログラムを含むすべてのプログラムを終了し、そしてウイルス検出ソフトを無効にします。
2. Microsoft ActiveSync ダウンロードページ http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=6b6ae681-5bf9-48af-b6f9-f38270741f6a&DisplayLang=ja から ActiveSync ソフトウェアをダウンロードします。
3. ダウンロードするファイルの場所をブラウズして、それをダブルクリックします。

   インストールウイザードが始まります。

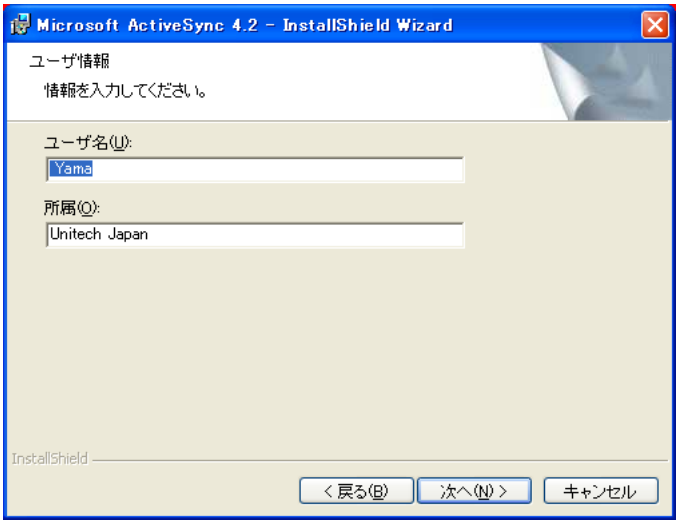


Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

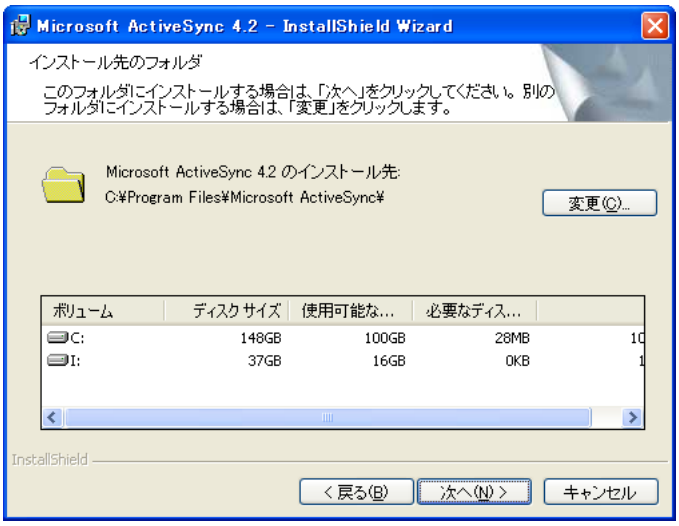
4. **次へ**をクリックします。
   使用許諾契約を読むように求められます。



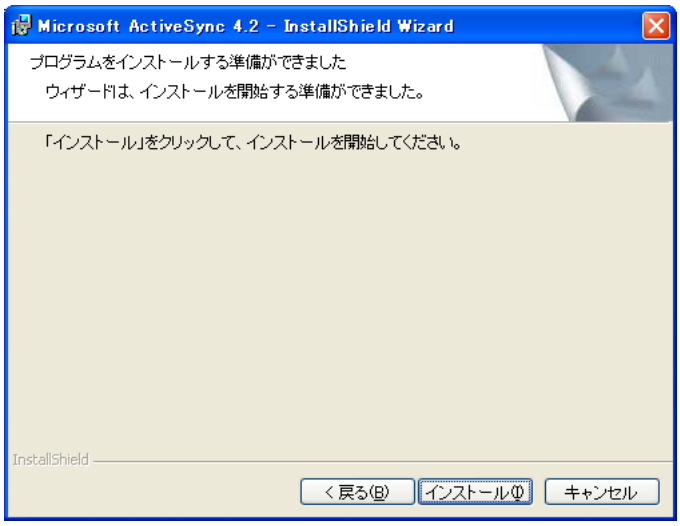
5. ライセンス条項を了承して **次へ**をクリックします。
   ユーザ情報の入力が求められます。



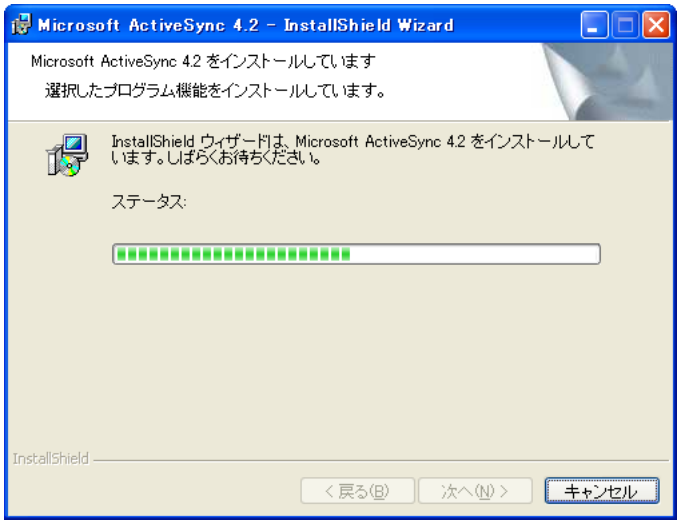
6. ユーザ名と組織名をタイプして**次へ**をクリックします。
   保存先フォルダを指定するように求められます。



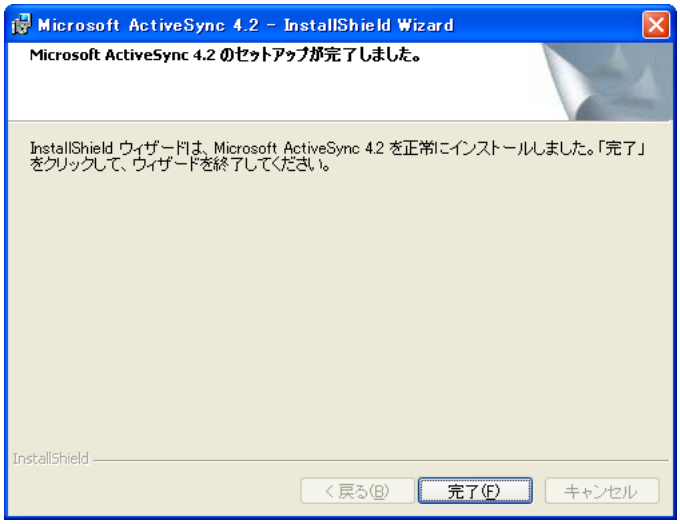
7. プログラムをインストールするドライブを選択して**次へ**をクリックします。
インストールウイザードが ActiveSync をインストールするために必要な情報を収集し、インストールの開始を求めます。



8. **インストール**をクリックします。
プログラムがインストールを開始します。



プログラムのインストールが終了したら以下のスクリーンが現れます。



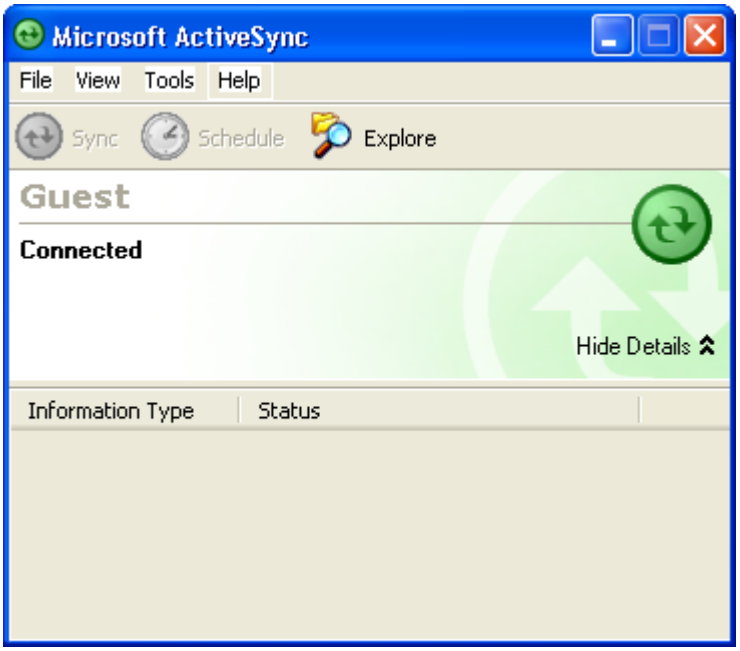
Copyright 2006 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

9. **完了**をクリックします。
   コンピュータを再起動するように求められます。

ActiveSync をインストールした後でコンピュータを再起動すると ActiveSync アイコン がコンピュータのシステムトレイに現れ、ActiveSync 接続ウイザードが始まります。コンピュータで ActiveSync を使用する方法の詳細は ActiveSync を起動し、そして **ヘルプ** → **Microsoft ActiveSync ヘルプ**をクリックします。

PA600 とコンピュータとの接続

1. **ActiveSync** をインストールした後で、PA600 底部にあるユニバーサルコネクタに **USB** 充電ケーブルを接続します。必要なら、**AC** アダプタを接続します。10 ページの *PA600 と PC の接続* をご覧下さい。
2. **USB** 充電ケーブルの反対側コネクタをコンピュータの **USB** ポートに接続します。
3. PA600 の電源を入れます。
4. **ActiveSync** は自動的にスタートし、PA600 と通信するように自動的に設定します。新しいパートナーシップ設定ウイザードが自動的にスタートします。接続ができないことを示すメッセージが表示された場合、**キャンセル** ボタンをクリックし、通信設定をマニュアルで行って下さい。
5. 画面の指示に従って下さい。
6. 設定のプロセスが終了したら、ActiveSync ウインドウが現れます。



7. 同期が初期化され、選択した定期的な同期もしくは接続時の同期が行われます。

ノート：　コンピュータは複数の PA600 とパートナーシップを作成することができます。また、PA600 は二つのコンピュータとパートナーシップを作成することができます。

コンピュータとの同期

同期はコンピュータで ActiveSync を設定したときに選択したオプションに従って行われます。Microsoft ActiveSync セットアップウイザードで標準の（接続時）同期を受け入れた場合、単に PA600 をコンピュータに接続するだけで同期が行われます。

Active Sync で接続時の機能を有効にしなかった場合、以下のいずれかの方法で ActiveSync を開始することができます：

- コンピュータで、マイコンピュータ → モバイルデバイスフォルダをダブルクリックします。
- コンピュータと PA600 を USB ケーブルで接続します。

接続オプション

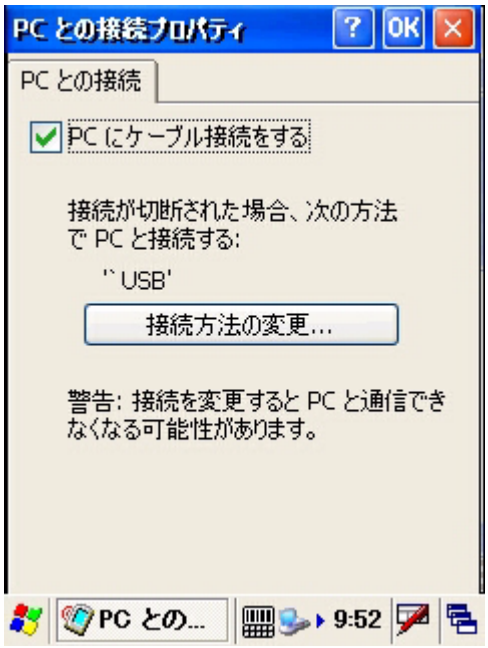
以下の接続オプションを使用してコンピュータとリモート同期をセットすることができます：

- USB 接続
- 赤外線接続
- Bluetooth 接続
- WiFi 接続

USB 接続

USB 接続を使用してコンピュータと同期する方法：

1. USB 充電ケーブルを使用して PA600 とコンピュータを接続します。
2. **設定** → **コントロールパネル** → **PC との接続**をタップします。
3. **PC にケーブル接続をする**のチェックボックスをチェックします。
4. **OK** をタップします。



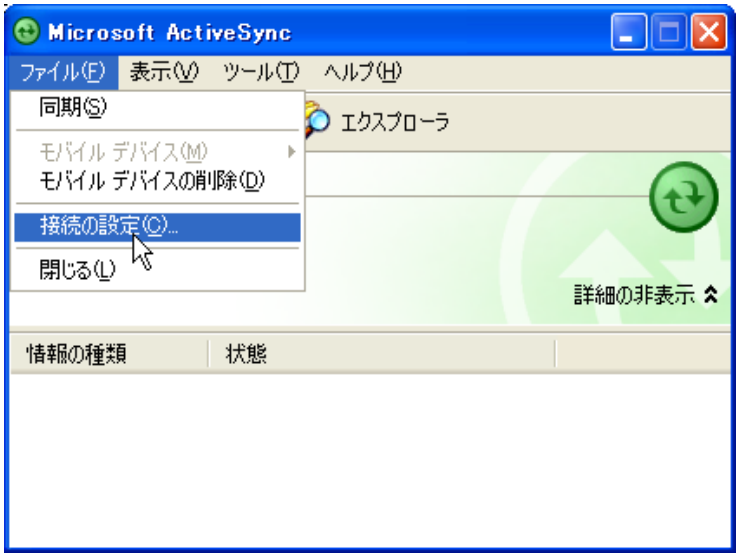
Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

赤外線接続

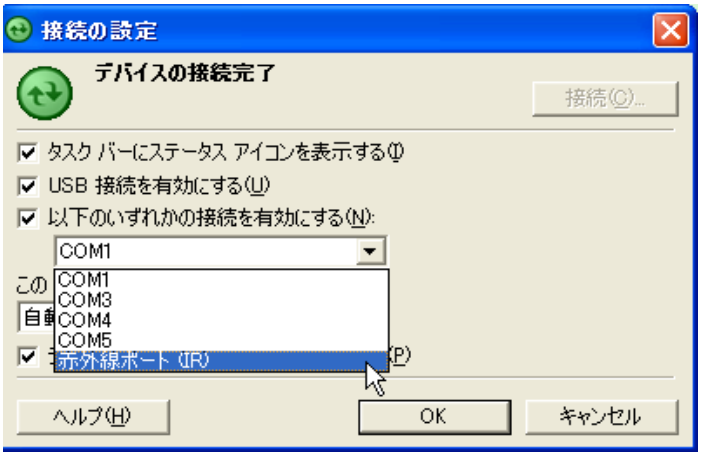
赤外線ポートは、赤外線通信を使用できるコンピュータと情報を同期することができます。PA600 の赤外線ポートとコンピュータの赤外線ポートを対向させます。

この方法はケーブルやアダプタの変更をする必要がないので速やかに複数の PA600 を切り替えるのに最適な方法です。

1. コンピュータで以下のステップを実行します：
   a. メーカーの説明書に従って赤外線ポートを設定します。
   b. コンピュータの IR ポートの準備ができたら ActiveSync を開きます。
   c. **ファイル → 接続の設定**をクリックします。



   d. **以下のいずれかの接続を有効にする**をチェックし、ドロップダウンリストから**赤外線ポート (IR)** を選択します。
   e. **OK** をクリックします。



2. PA600 で以下のステップを実行します：

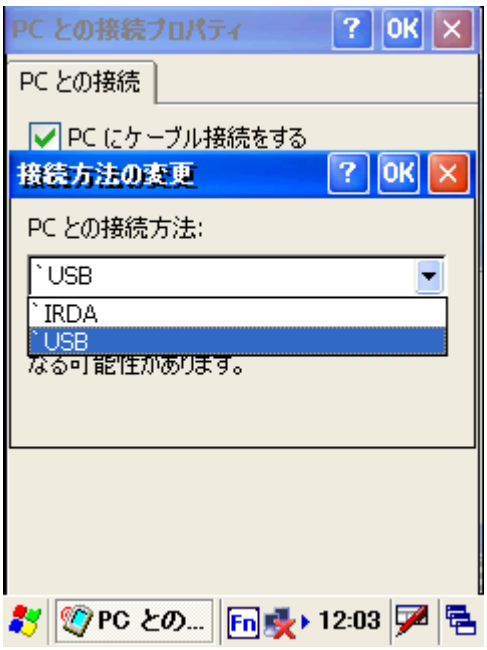
a. PA600 の IR ポートとコンピュータの IR ポートを障害物が間になく、近い距離で対向します。

b.設定 → コントロールパネル → PC との接続 → PC との接続方法をタップします。

c.PC にケーブル接続をするのチェックボックスをチェックします。

d.IRDA を選択します。

e.OK をタップします。



Bluetooth 接続

PA600 は Bluetooth アダプタまたはアクセスポイントを持つコンピュータと情報を同期するために使うことのできる Bluetooth 無線を内蔵しています。Bluetooth 無線は接続可能な距離内であればいつでもコンピュータと通信することができます。

下に従って Bluetooth 接続をセットアップします。

1. **スタート → プログラム → Bluetooth → BTPowerOn** をタップし、**Bluetooth モジュール電源オン**をチェックします。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

2. **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** → **Bluetooth デバイスのプロパティ**をタップします。

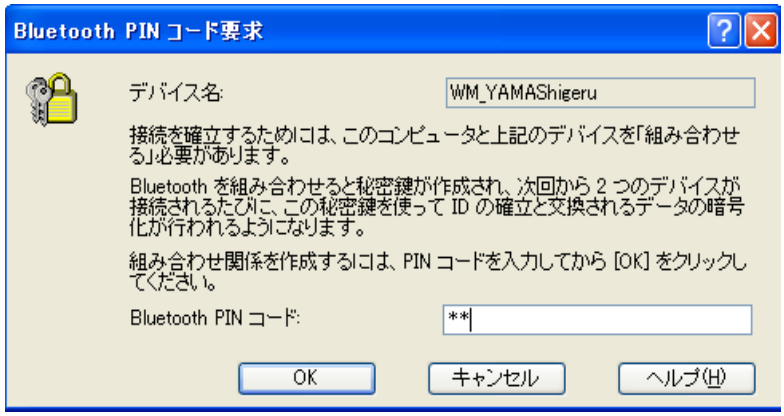
3. **デバイスのスキャン**をタップします。
4. リストから接続したいデバイスを選択し、**信頼あり**をタップします。

PIN コードの入力を要求されます。

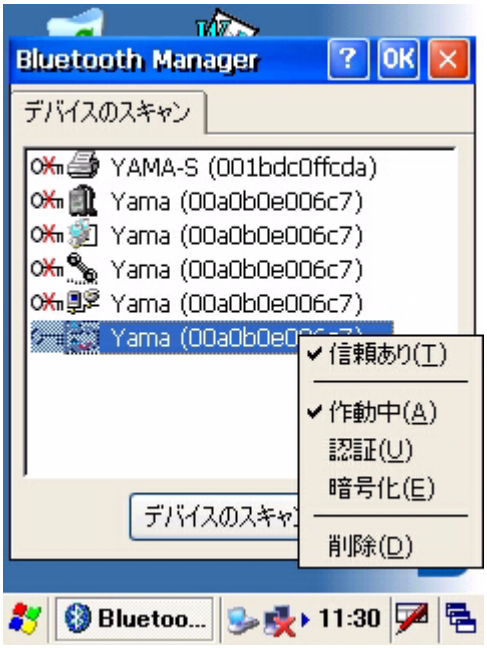
5. PIN コードを入力します。

PC のスクリーンで、Bluetooth PIN コードの入力が要求されます。

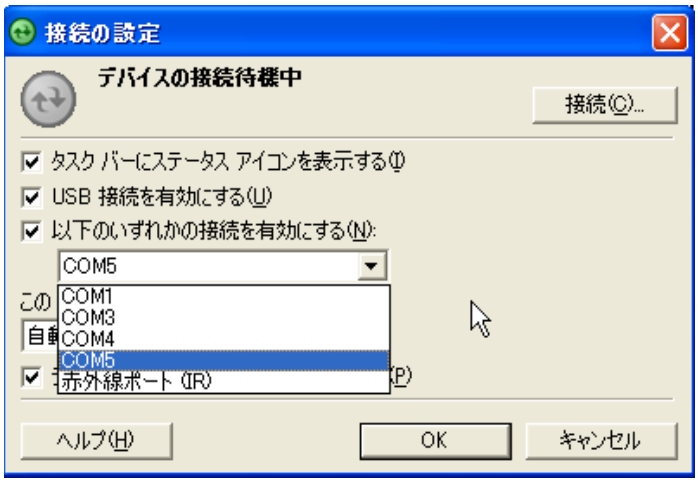
6. ステップ 4 で入力した Bluetooth PIN コードと同じものを入力します。



7. PA600 で、リストからデバイスを選択し、**作動中**を選択します。

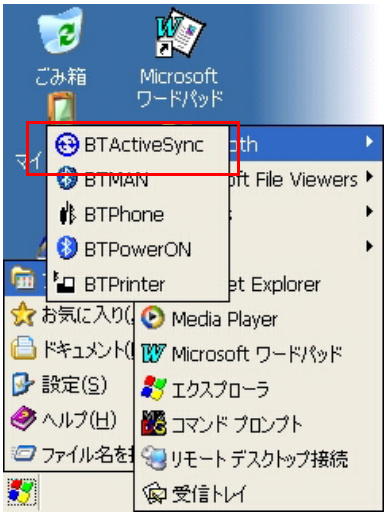


8. PC で、**ActiveSync** → **接続の設定** → **COM ポート**の選択 (例、COM 5) → **OK** をクリックします。

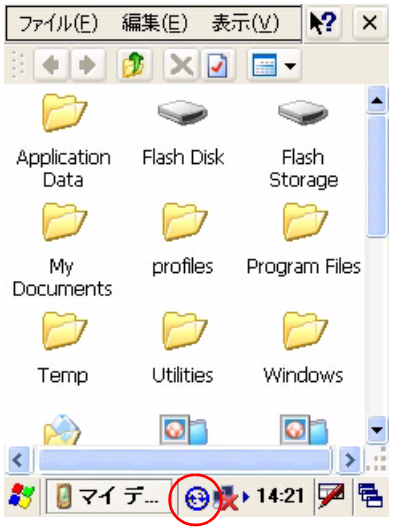


Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

9. PA600 で、**スタート** → **プログラム** → **Bluetooth** → **BTActiveSync** をタップします。



10. タスクバーにアイコンが現れます。アイコンをダブルタップします。



11. ActiveSync ウインドウがポップアップします。**その他**をタップします。

12. **デバイススキャン**をタップします。同期したい Bluetooth デバイスを選択します。**OK** をタップします。

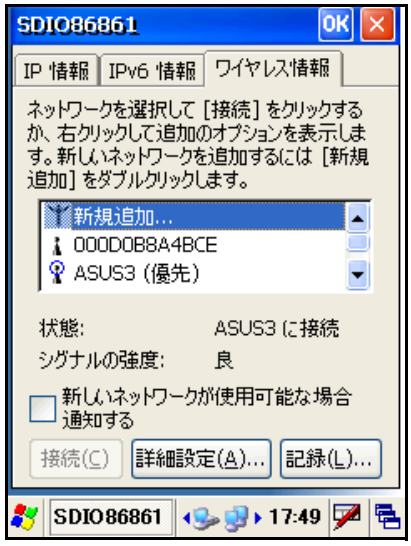
13. **BTActivesync** アイコンを再度タップします。**同期**をタップします。
14. ActiveSync が始まります。

WiFi 接続

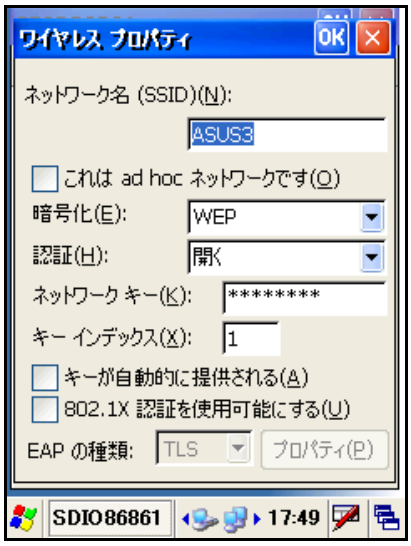
PA600 は無線 LAN モジュールを内蔵しています。ここでは、無線 LAN の設定方法を説明します。

1. **タスクバーのネットワークアイコン**をタップします。

2. **ワイヤレス情報**をタップします。新規追加をタップします。

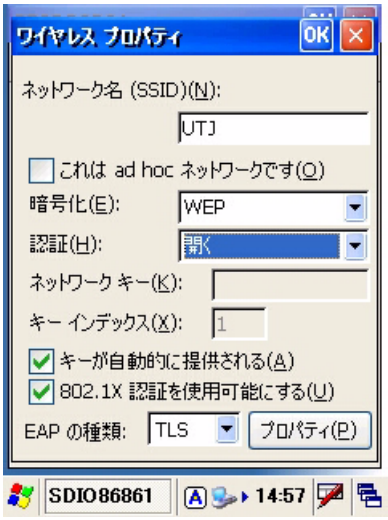


3. SSID を入力します。

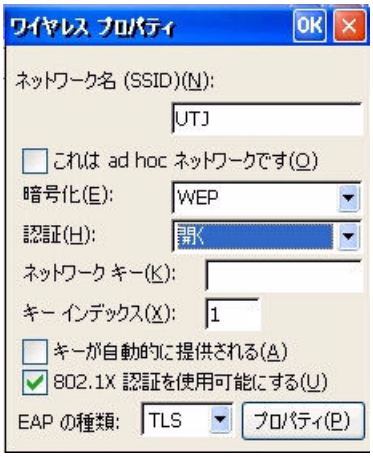


Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

4. 認証で、「開く」を選択します。

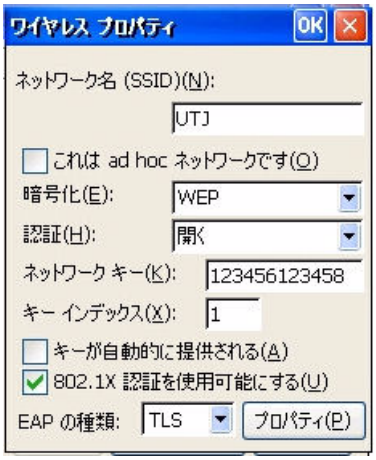


5. 暗号化で、「**WEP**」を選択します。

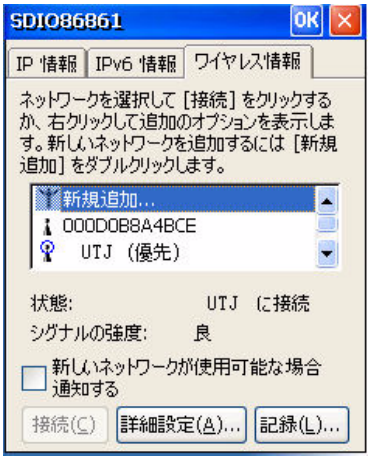


6. **「キーが自動的に提供される」**のチェックを外します。

7. ネットワークキーを入力します。



8. **OK** をタップします。無線 LAN 信号を探し始め、そして無線 LAN アクセスポイントの接続を行います。



同期情報

PA600 で作成されたすべてのファイルは マイドキュメント /PA600 マイドキュメントフォルダに保存されます (デバイス名を PA600 とした場合)。コンピュータで PA600 マイドキュメントアイコンをダブルクリックすることによってファイルを表示することができます。

ファイル同期を有効にした場合、PA600 について別のデバイス名を選択しない限り PA600 のファイルは自動的にコンピュータのマイドキュメントフォルダと同期が取られます。

同期オプション

同期オプションは、同期時に何を同期するかを含めて変更することができます。モバイルデバイスウインドウで**ツール → 同期オプション**をクリックします。

各タイプの情報について、同期プロセスは同期するデータ量を制限することによって速くすることができます。これを行うには、サービスを選択し、設定ボタンをクリックします。サービスを有効にした後で、ActiveSync を閉じて、再度開かなければなりません。

ファイル交換に ActiveSync を使用

PA600 とコンピュータ相互間で情報を交換するために ActiveSync を使用することができます。ある場所で変更した情報は別な場所の情報に影響しません。PA600 とコンピュータの双方で情報を更新したい場合は、代わりに情報の同期を行います。

二種類の情報、ファイルと Pocket Access Windows CE Store 情報を、PA600 にコピーすることができます。

以下の手順はファイルのコピーのみに適用されます。Pocket Access Windows CE Store 情報のコピー方法についてはコンピュータの ActiveSync ヘルプをご覧下さい。

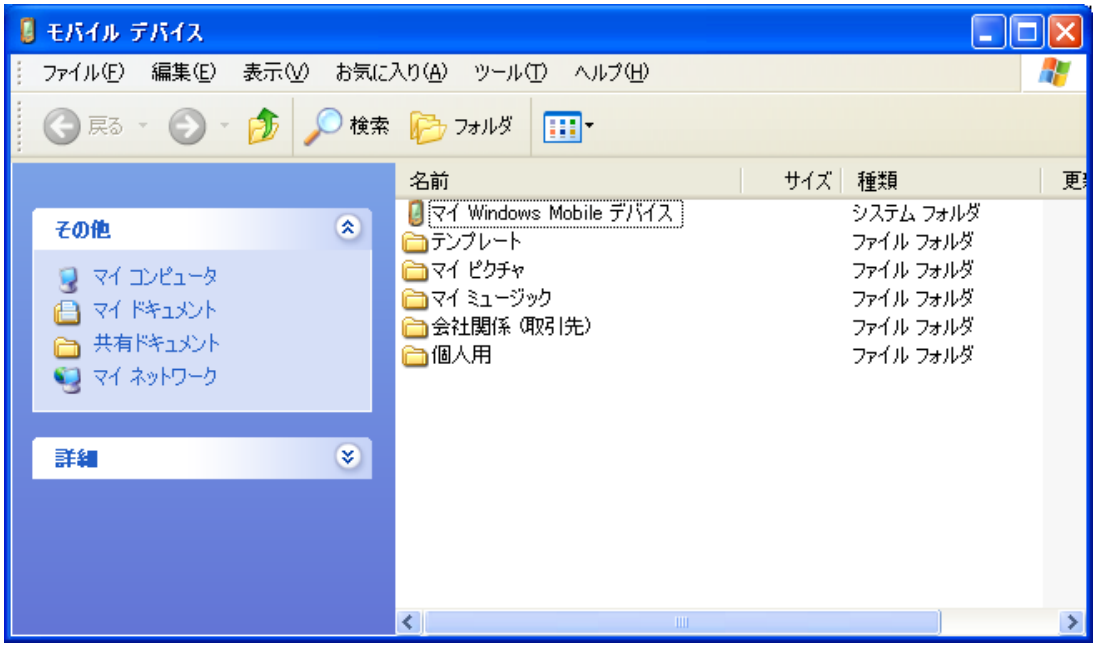
ノート： コンピュータで作成したファイルは ActiveSync によって変換する必要があるので、PA600 で表示または編集することができます。

ファイルのコピー方法：

1. PA600 をコンピュータに接続します。
2. コンピュータの ActiveSync で、**エクスプローラ**をクリックします。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

Windows エクスプローラが PA600 のモバイルデバイスウインドウを開きます。



3. PA600 またはコンピュータのコピーしたいファイルを見つけます。
4. 以下の一つを行います：
   - PA600 にファイルをコピーするには、ファイルを右クリックし、**コピー**をクリックします。PA600 のコピーしたいフォルダーにカーソルを当て、右クリックし、そして**貼り付け**をクリックします。
   - コンピュータにファイルをコピーするには、ファイルを右クリックし、**コピー**をクリックします。コンピュータのコピーしたいフォルダーにカーソルを当て、右クリックし、そして **貼り付け**をクリックします。

バーコードスキャナプログラム

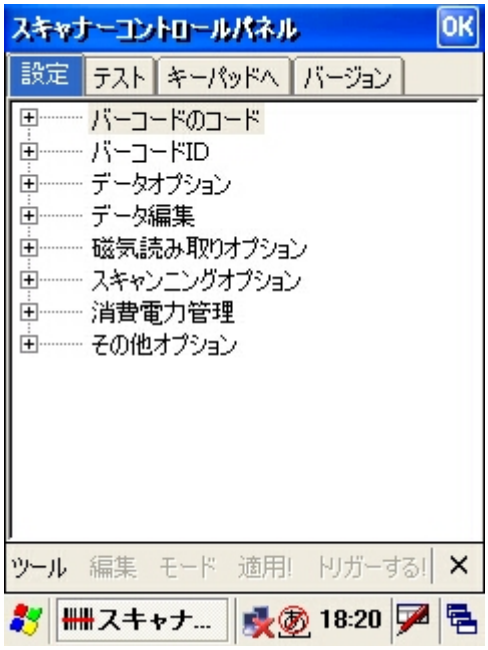
Scan2Key プログラム

Scan2Key プログラムはスキャナポートからの入力をキーボードバッファに転送し、スキャナからのすべての入力をキーボードからの入力としてエミュレートします。Scan2Key を使用すると、スキャンしたデータは Microsoft ワードパッドなどのスキャナポートに対応していないアプリケーションに直接入力することができます。

スキャナ設定

アプリケーションによっては標準のバーコードシンボル読み取り設定を変更する必要があります。スキャナコントロールパネルは、標準のシンボル設定の変更、スキャンしたデータの後に区切り文字を付け、設定を保存することができます。

スタート → **設定** → **コントロールパネル** → **Scanner** をタップするとスキャナコントロールパネルを表示します。



Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

バーコードシンボル

バーコードシンボル	有効 / 無効	チェック文字 / 数確認	チェック文字 / 数送信	Max/Min 長さ	先頭桁送信	備考
Lookland EAN	YES					
Codabar	YES	YES	YES			スタート / ストップビット送信，CLSI フォーマット，* データ長
Code 11	YES		YES			* チェックデジット，* データ長
Code 128	YES					* データ長
Code 32	YES				YES	最終桁送信
Code 39	YES	YES				ASCII では，スタート / ストップビット送信，ファンクションコード，二重ラベルデコード，* データ長，* 二重ラベル分離子
Code 93	YES		Yes			* データ長
Deta Code	YES	YES	YES			
EAN 128	YES		Yes			コード ID 送信，* フィールド分離子
EAN 13/JAN 13	YES	YES			YES	
EAN 8/JAN 8	YES	YES			YES	* 先頭または最終桁カットしない，* データ長
Interleaved 2 of 5	YES	YES	YES			固定長，* 先頭または最終桁カットしない，* データ長
Label Code IV&V	YES		YES			
MSI/Plessey	YES		YES			* チェックデジットダブルモジュール 10，* データ長
Standard 2 of 5	YES	YES	YES			固定長，* データ長
Telepen	YES					* 標準文字セット
UPC A	YES		YES		YES	
UPC E	YES		YES		YES	ゼロ拡張 ,NSC
UPC/EAN Group						サプリメント 2，サプリメント 5，サプリメントの前にスペース挿入，サプリメント必須，* アドオンコードトライレベル

ノート：*Scanner Control Pannel V3.0 で値を変更可能

詳細な設定

設定の変更

このセクションでは、PA600 を皆様の好みにあった設定に変更する方法について説明します。

設定を変更するには、**スタート** → **設定** → **コントロールパネル**をタップします。

コントロールパネルスクリーンが現れます。

ここから、バックライト、自動電源オフタイマー、ボリューム、そして CPU 速度を設定することができます。また、ボタンの割り当て、メニューの設定、オーナー情報の入力、そして接続のセットアップを行うことができます。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

メインとバックアップバッテリ状態のチェック

このセクションはメインバッテリとバックアップバッテリの電源レベルの表示方法を説明しています。電源消費を少なくするために、自動オフの機能と CPU の処理速度を設定することができます。

メインバッテリとバックアップバッテリのステータスチェック方法：

1. パワーマネージメントプロパティを開きます。以下の一つを行います：

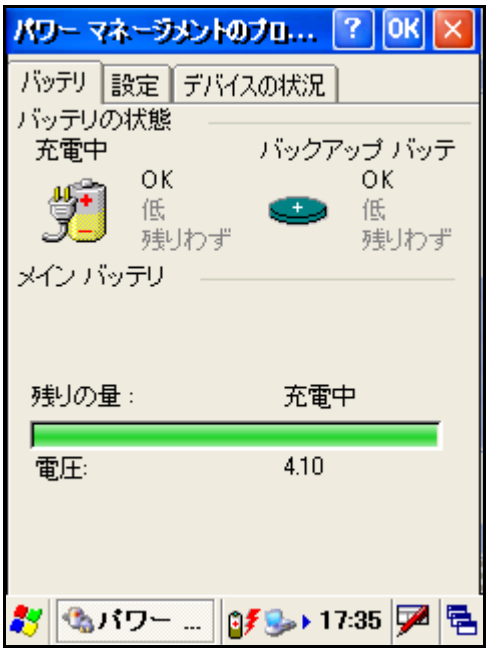
   – PA600 で、プラグまたはバッテリアイコンが表示されている場合、パワーマネージメントプロパティを立ち上げるためにこのアイコンをダブルタップします。

   – **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** → **パワーマネージメント**をタップします。
   あるいは、Fn キーと "8" を押します。

パワーマネージメントスクリーンが現れます。

2. **バッテリメニューはメインバッテリとバックアップバッテリのステータスを表示します。**
   ここで表示されているスクリーンは、両方のバッテリがほぼ 100% 充電されていることを示しています。

ノート： バッテリ容量が 10% 以下の場合、バッテリを充電する必要があります。



バッテリの使用時間を延ばす

以下のいずれかにより PA600 のバッテリ使用時間を延ばすことができます：

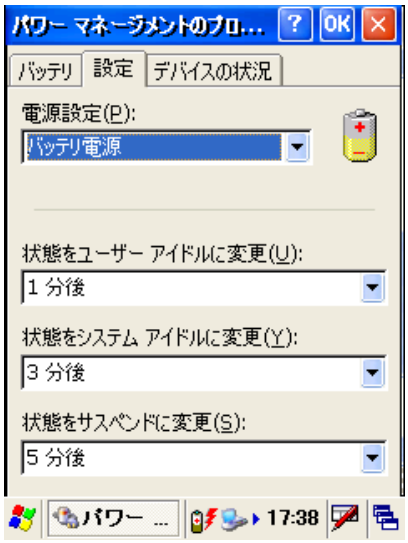
- 自動電源オフの設定
- バックライトの使用を少なくする

自動電源オフ設定の変更

PA600 は何もしていないとき、あるいはすべてのタスクが入力待ちになっているときにはアイドルモードに入ります。標準設定では、PA600 は 3 分間そして外部電源が接続されていない場合に自動的に電源が切れます。電源ボタンを押すと PA600 は電源が切れた時点と同じポイントに戻ります。

自動電源オフ設定の変更方法：

1. パワーマネージメントスクリーンで**詳細設定**タブをタップします。
2.
3. 電源オフまでの時間をリストから選択するためにバッテリ使用時：次の時間経過後、電源を切るの右にあるリストの矢印をタップします。選択可能な時間は 1、2、3、4 と 5 、10、30 分となしです。
4. この機能は PA600 に電源アダプタが接続されているか、クレードルに置かれていて、**電源設定**のリストで AC 電源を選択することによっても働かせることができます。右にあるリストの矢印をタップします。選択可能な時間は 1、2、3、4、5、10、30 分となしです。



Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

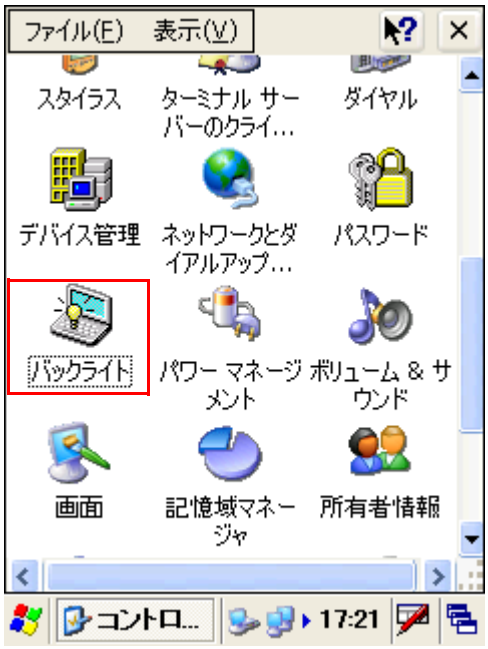
バックライト設定の変更

LCD バックライトの消費電力は大きいので必要がなければバックライトをオフにします。

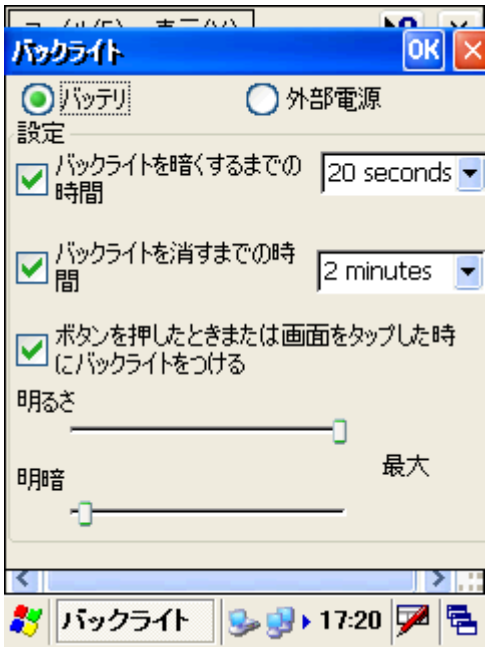
バックライトが必要な場合、バックライトを自動的に切る機能をセットします。

バックライト設定の変更方法：

1. **スタート** → **設定** → **コントロールパネル**をタップします。
2. **バックライト**をタップします。

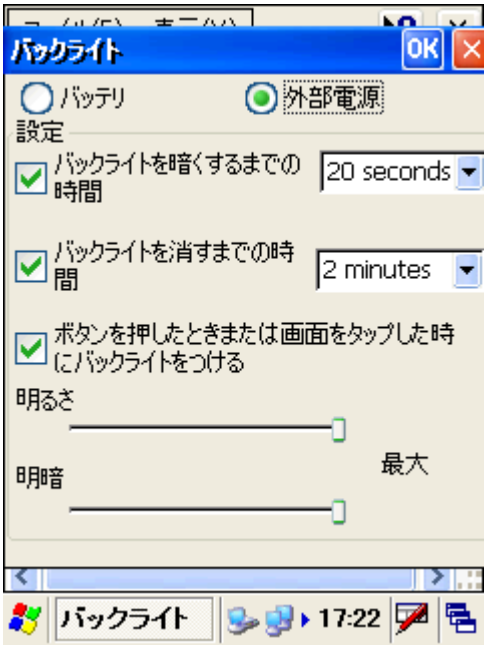


バックライトの画面が現れます。



3. 以下のいずれかを実行します：
   - バッテリのチェックで、**バックライトを暗くするまでの時間**チェックボックスをタップし、ドロップダウンリストからバッテリ使用時にバックライトを暗くするまでの時間を選択します。
   - バッテリのチェックで、**バックライトを消すまでの時間**チェックボックスをタップし、ドロップダウンリストからバッテリ使用時にバックライトをオフにするまでの時間をタップします。
   - ソフトウェアキーボードが有効な場合にバックライトを点けるために**ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける**チェックボックスをタップします。
   - 明るさ、および明暗のスライドバーを調節して画面の明るさを変更します。

– 外部電源をチェックし、バッテリと同じように設定を行います。



フラッシュメモリのファイル表示

フラッシュメモリは、プログラムやデータファイルを読み書きすることのできる記憶領域です。フラッシュメモリの利点は、フラッシュメモリに保存されたファイルとプログラムが PA600 の電源状態に依存されないということです。

フラッシュメモリのアクセス方法：

1. PA600 をコンピュータに接続します。24 ページ参照。
2. コンピュータで、マイコンピュータ > Flash Storage をクリックします。

ファイルを PA600 のフラッシュメモリに転送する方法：

1. PA600 をコンピュータに接続します。24 ページ参照。
2. コンピュータの ActiveSync で、エクスプローラをクリックします。
   - ファイルを PA600 にコピーするには、コンピュータで、ファイルを右クリックし、コピーをクリックします。カーソルを PA600 の Flash Storage において、右クリックし、そして貼り付けをクリックします。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

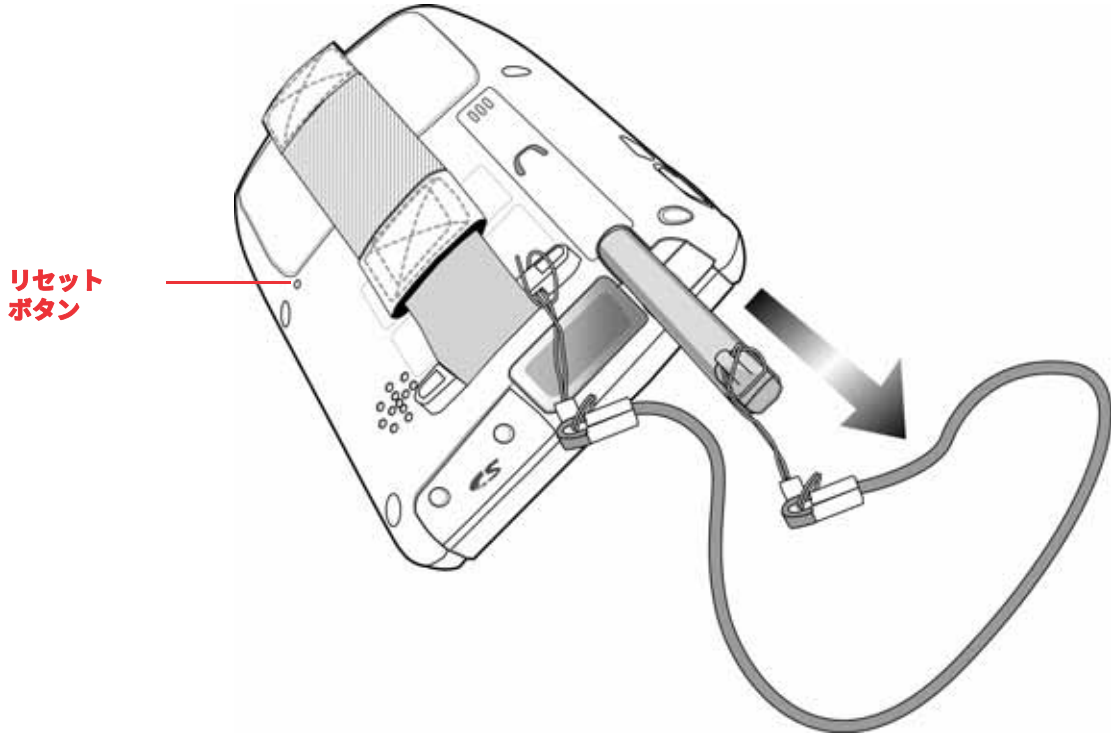
ハードウェアリセットの実行

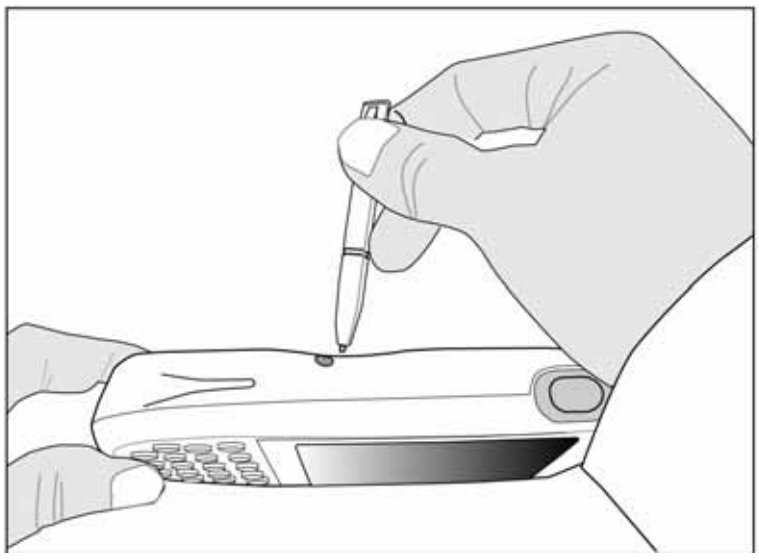
PA600 がフリーズした場合 (例、スクリーンのボタンに反応しない等) リセットを行うことができます。

ソフトリセットは、コンピュータのリブートの様に PA600 をフレッシュな状態にしてスタートします。PA600 を再スタートしてメモリの割り付けを調整します。データや設定はソフトリセット後も保持されますが、実行されていたプログラムで保存されなかったデータは失われる可能性があります。

ウォームブートの実行

1. ホルダーからスタイラスを外します。
2. PA600 の背面にあるリセットボタンをスタイラスの先端で軽く押します。





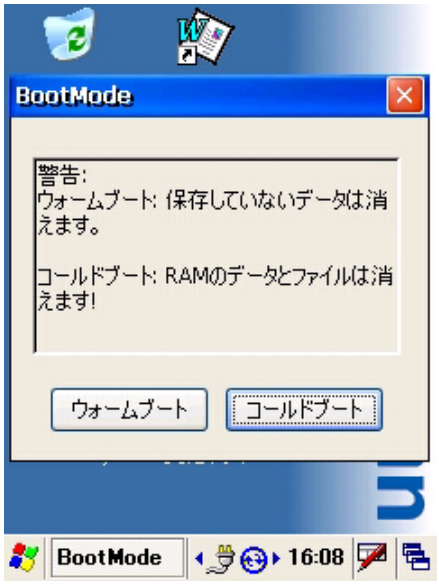
コールドブートの実行

コールドブートは、すべてのデータや設定、追加したプログラムを消去し、PA600 を工場出荷時の設定に戻します。しかし、Flash Storage と Flash Disk フォルダに保存されたデータとアプリケーションプログラムは、削除されません。ソフトリセットが問題を解決しない場合を除いてハードリセットを実行しないで下さい。次回 ActiveSync の操作を行った時、直前にコンピュータと同期されたデータを復元、もしくはメモリカードにバックアップしたデータを復元することができます。

1. **スタート** → **プログラム** → **Utilities** → **BootMode** をタップします。

BootMode スクリーンが現れます。

2. **コールドブート**をタップします。PA600 はリセットし、RAM メモリにあるファイルを含むすべてのデータは失われます。



ノート： コールドブートを実行したとき、日付と時刻設定は保持されません。フォーマット、地域設定、その他の設定は工場出荷時の標準値にリセットされます。

Copyright 2009 Unitech Electronics Co., Ltd. All rights reserved. Unitech is a registered trademark of Unitech Electronics Co.,

付録

システム仕様

CPU/ メモリ	CPU	Intel PXA270 520MHz
	メモリ	SDRAM:64MB Flash ROM:128MB
OS	Windows CE.NET 5.0	
キーパッド	18 キー，数字キー，英字キーとファンクションキーを含む	
ディスプレイ	240x320 QVGA，カラー半透過型 TFT，タッチパネルとバックライト付き	
スキャナ	レーザスキャナ	
インジケータ	LED，バイブレータ	
通信	USB ホスト & クライアント IrDA 1.2(SIR) 802.11b/g (省電力) Bluetooth Bluetooth は Bluetooth プリンタ， Bluetooth モデム， Bluetooth ActiveSync をサポート	
オーディオ	マイク スピーカ ヘッドセットコネクタ 受話器	
拡張スロット	SDIO スロット	
電源	主電源	3.7V 2200mAH リチウムイオンバッテリパック
	バックアップ	充電式ニッケル水素バッテリ
重量・寸法	重量	300g 以下、バッテリとスキャナを含む
	寸法	約 L149.5 X H26.6 X W85mm
環境	動作温度範囲	0 ℃から 50 ℃
	保存温度範囲	-20 ℃ から 60 ℃
	相対湿度	5% から 95%(結露ないこと)
	落下テスト (コンクリート面)	1.2 メートル
	防水・防塵	IP64
モデル		
	802.11b/g + Bluetooth	
	Bluetooth のみ	
認証	CE，FCC，BSMI，TELEC，VCCI，RoHS 対応	
アクセサリ	デスクトップクレードル 4 スロットバッテリ充電器 4 スロット Ethernet クレードル	携帯ケース
ソフトウェア	Microsoft Visual Studio 2005 Microsoft Windows Mobile 5.0 SDK Unitech PA600 SDK VOIP (サードパーティ)	